

図書委員会の横田さんは、委員会からのお知らせを全校児童によりびかけることになりました。次は、その【お知らせの下書き】です。これを読んで、あとの問いに答えましょう。

【お知らせの下書き】

図書委員会では、みなさんにいろいろな本を読んで読書の楽しさを知ってもらうために、二つのことを計画しました。

一つは、図書委員による読み聞かせです。毎週水曜日の昼休みに、図書室で図書委員が読み聞かせを行います。①第一回は、新美南吉作「手ぶくろを買いに」という本です。心温まるお話なので、ぜひ聞きに来てください。②もう一つは、読書ゆうびんです。図書委員会が先月に行ったアンケートでは、「おもしろい本を、もっとしようかいしてほしい。」という意見がありました。読書ゆうびんは、友達におすすめの本をしようかいするものです。③一人一人が相手を決めて、おすすめの本やその理由などをカードに書きます。それを図書委員が、ゆうびんのようにとどけます。この方法では、本をしようかいする人は、相手にあった本を選ぶことができるし、カードをもらった人は、うれしくなって本を読みたくなると思います。④また、読書ゆうびんは「読みたい本がなかなか見つからない。」となやんでいる人にも参考になると思います。

読み聞かせや読書ゆうびんで、みなさんの心にとまる本がきつと見つかるでしょう。

一 次は、【お知らせの下書き】の [] の中の文です。次の文の主語に当たるものを、 [] 部 1 から 5 までのの中から一つ選んで、その番号に○をつけましょう。

毎週水曜日の 1 昼休みに、 2 図書室で 3 図書委員が 4 読み聞かせを 5 行います。

二 横田さんが書いた【お知らせの下書き】の文章の [] の部分を、二つの段落に分けたいと思います。①から④のどの場所で分ければよいでしょうか。次の 1 から 4 までのの中から一つ選んで、その番号に○をつけましょう。

- 1 ①の場所 2 ②の場所 3 ③の場所 4 ④の場所

三 横田さんは、 [] 部を読み直したあと、二つの文に分けて書き直すことにしました。つなぎ言葉には、「そして、」を使い、書き直した一つ目の文の終わりの五文字と、二つ目の文の「そして、」に続く五文字を書きましよう。

[] 。そして、 []

四 [] 部「心にとまる」とありますが、この「とまる」は、【国語辞典で調べた内容】の 1 から 4 のどの意味で使われていますか。その番号を一つ選んで書きましよう。

【国語辞典で調べた内容】

【とまる】(動) 1 動かなくなる。 2 印象が消えずに残る。 3 宿などで一夜を過ごす。 4 そこで終わりになる。 例 時計がとまる。 例 目にとまる。 例 おじさんの家にとまる。 例 いたみがとまる。